

SSKP
はばたけだより
vol.117

自慢のおうどんです!



4月の限定メニュー“菜の花うどん”です!

おもむく食堂

工房 時の店舗部のみなさんが元気に働く『おもむく食堂』。2階の製麺部で作ったできたての麺を1階の店舗で茹で上げます。ワンコインでおいしいおうどんが食べられると評判です!

近所の「あきゆらいず美養品」の社員さんの中では、お昼になると「今日、おもむいちゃう?」が合言葉のように飛び交っていると、いいとか、いないとか…。

みなさんもぜひ、おもむいちゃってくださいー!

営業：火～土 11:30～14:30 (ラストオーダー14:00)



社会福祉法人おおぞら会

小規模多機能型 居宅介護



～野ざきの家～



おおぞら会が初めて立ち上げた介護保険事業所・野ざきの家。法人の各障害サービス事業と同様に、私たちが大切にしたいのは「当事者がいきいきと地域で暮らしていくこと」です。

人は誰でも歳をとります。はばたけやなかまの家、あすはの利用者の方たちも、年齢を重ねていくと障害福祉サービスの枠だけでは支援が難しくなるのではないかと。社会福祉法人の役割を広く捉えれば、高齢者を支えることも地域のニーズに応える意味で必要なのでは？ という議論から、野ざきを家の開設に至り、事業開始からこれまでに10名の登録がありました！

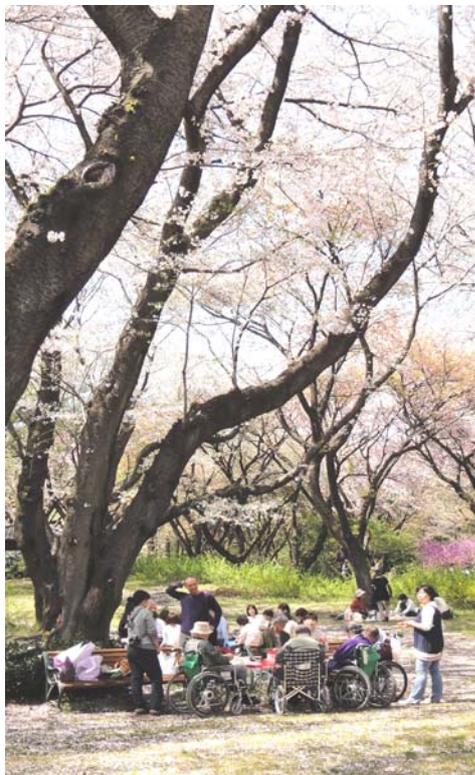
さくらのころ・・・

春は出会いと別れの季節。時期を問わず随時募集があればご利用頂ける野ざきの家ですが、この春から利用して下さっていた方々のお別れが続きました。野ざきの家を利用する前は、お食事や移動に全面的な介助が必要だったり、危険予防のために身体抑制を受けられていた方々でしたが、野ざきの家で当たり前の生活を重ねる中で、



お食事や歩行がご自身で出来るようになり、抑制などなくても穏やかに過ごされるようになり…嬉しい変化をたくさん見せてくださったお二人でした。ご年齢もあり、体調を崩されると一気に介助量が増えてしまうことなどもありましたが、試行錯誤しながら支援を続けたことでまた元気を取り戻される姿に、支援者があきらめないことの大切さを教えて頂きました。私たちがお世話しているようで、本当は様々なことを教えて頂いているのだということに改めて感じた半年間でした。お二人に感謝しながら、また今度の健康をお祈りしつつ、新たな出会いを大切に、これからもお一人おひとりを大切にしたい支援を重ねて行きたいと思っております。

(管理者 西田さおり)



桜が満開の時期に野ざきの家でお花見に出かけました。
桜吹雪が舞う中で満開の桜を心ゆくまで満喫し、お昼には手作りのお弁当を利用者さんに召し上がって頂きました。

野ざきの家が大切にしていることは、利用者さんはこれまで「人生の大海原を長く航海されてきた方々」であることに敬意を払って接することです。「人という船を得たからには苦しみという名の大河を渡れ」とある偉人が言っていましたが、人間にはついてまわる四苦八苦があるからこそ、感じられる幸せや喜び、感謝の気持ちが生まれるのだと思います。私たちよりもずっと長く航海してきた利用者さんはたくさんの四苦八苦を乗り越えてきた方々。日々学ぶことや、気づかされることも多くあります。

昨年の8月より開所しましたが、短い期間でも多くの方々との出会いや別れを野ざきの家は経験して参りました。その短い期間だけでも、人生の航海の途中に立ち寄った安息の港として、少しでも利用者さん心の安らぎに繋がってくれればと思います、日々活動しております。

また5月より介護予防事業も始めることになり、要支援1・2の方々にもご利用頂けます。

皆様、足湯「晴れの湯」も絶賛稼働中ですので野ざきの家にお気軽にお立ち寄りください。(職員 金子)

工房 時



昨年8月に開設して、8か月が経ちました。
おかげ様で、うどん店「おもむく食堂」も、
近隣の方を中心に好評をいただいています。
おひとりでも喜んでいただける方が増える
ように、みんなで毎日「いらっしゃいませ！」
と、元気な声を心掛けて仕事に励んでいます。

☆私たちの合言葉☆

みんなで作ろう
つながる おいしさ
つながる 笑顔
つながる 出会い

また、この4月からは新たに3名の利用者を迎えて、「環境整備部」も立ち上がりました。清潔感のある事業所をめざします。

そして、みんなが地域のみなさんとつながっていることを実感できるように、私たちは「おいしい！」をキーワードに奮闘します。

(管理者：三浦明雄)

新商品つくろう！

売上アップのための製品開発を
すすめています。さまざまな方
たちのアイデアをお聞きしたいと思っていますので、ご興味のある方、お力を貸していただける方は是非ご一報ください。企画会議で採用されるかも…！

新製品・キャンペーンのご紹介



おもむく食堂 母の日企画
先着100名の方に
サブレを差し上げます！
(5月8日から)

父の日企画も
検討中です。
乞うご期待！



●5月限定メニュー
たけの子ごはん、始めました。
春の風味をお楽しみ下さい。

★新製品の時サブレを「星と風のカフェ」で販売しています。
パウンドケーキは、子どもの日にぴったりのパッケージに！



販売協力員募集中！
ご連絡は 0422-30-5571 まで。

製菓部



三鷹ハピネスセンターさんで
販売をはじめました。
(第2、第4水曜 11:30~13:00)

生活介護事業

アクティビティセンターはばたけ

3月から自立支援法の「生活介護事業」へ移行した はばたけは、これを機に新しいグループをつくりました。小さなグループで、それぞれが自由な発想をもってアクティブに活動ができるようにと考え、2月から始動しています。その分職員も、頭と身体をフル回転させて、「利用者みなさんにとって、どんな活動があったらいいだろう」と試行錯誤の日々です。

自分の気持ちを表現するのが難しい方、自分はどんなことがしたいのかという選択肢が少ない方も多く中で、はばたけの取り組みを通して、自信の持てること、人とつながる喜び、選択する楽しさを増やし、生活の中で「こんなことをしたい」という『欲』をもっともっと持ってほしいなと思っています。

そのためには、料理に創作、畑づくり、音楽活動、外出…と、様々なことに目を向けてみて体験してみる…という、今がその真っ最中です。「やってみたいこと」を、写真や絵カードなども使いながら自分で選び、いろいろな意見をみんなで出し合って膨らませて実行していくことが経験として積み重なり、自信につながるのだと思います。

はばたけてどんなところ？何をしているの？今までと違うの？…と尋ねられることも多い今日この頃。てすきなどのお仕事は今までと変わりなく行っているのですが、これをやっています！と一言で言い切れない、むしろいろいろな“やってみたい”により寄り添える場になれたらと思います。〔管理者 入倉暁子〕



どれがいい？僕はこれ！



リレーに
バスケット
体育館は
みんなの
エネルギーで
あふれます！



今年の畑はにぎやかです！
初挑戦のラズベリーを植樹
畑に携わることで
気持ちも開放されます

助成をいただきました

財団法人みずほ福祉助成財団様より平成23年度福祉助成をいただき、てすき作業用「バキュームローラー」「貼り付けローラー」を購入いたしました。

てすきの紙が簡単にきれいに仕上がる機械で、生産の向上につながります。

また、多くの利用者が携われるようになるということで、さっそく活用させていただいています。

みずほ福祉財団様にあらためてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



名刺の注文も
お待ちしております

サポートネットあすは &あすはKids



「サポートネットあすは」が事業を開始してから5年、「あすは Kids」を立ち上げてから2年が経ちました。多くの方々に支えられ、これまで歩んで来ることができました。

ヘルパー派遣、放課後等デイサービス(児童デイサービス)、ともに意識してきたのは、地域の方々との日常的な交流です。「地域の方々と共に歩んでいきたい」、「障害のある人・ない人関係なく共に地域で豊かに暮らしていく・・・」といったことを大きな目標にしています。それは一朝一夕で出来ることではありません。地域の方々との日々のふれあいと地道な活動が、理解や共感を生むのだと思います。近所の商店で買い物を、レストランで食事をする、喫茶店でお茶を飲む、公園で遊ぶ、ヘルパーとバスや電車に乗る・・・ほぼ毎日、地域のどこかで「サポートネットあすは」「あすは Kids」の利用者はヘルパーや職員といっしょに、活動しています。吉祥寺駅や三鷹駅の近くを歩いていると、かなりの確率で「あすは」の利用者、ヘルパーに出会います！

「あすは」では地域の方々にも呼びかけて、「夏祭り」や「餅つき会」などの行事を毎年開催しています。遊びに来た子どもたちが、「いつも見ていたよ」「何をしているのかなあと思っていたんだ」「僕、近くに住んでいるんだよ」などと話すことがありました。お母さんもいっしょに来ておられ、私から「あすは」の活動について説明させていただくことがありました。

また「あすは」では、行事に合わせてミニバザーを開催しています。お店が開店していると皆さん入ってきやすくなるようで、毎回たくさんの方にご来場いただいています。最近ではバザーを開催していなくても「あすは」のドアを開け、展示してある〔ただ余ったバザー品を置いてあるだけなのですが(笑)〕商品を買物していかれる方〔意図的に普段から販売しているわけではないのですが(笑)〕や、バザー品を提供して下さる方も来られるようになってきました。

これからも地域で様々な方々とのかけ橋になれるよう、地道に活動を続けていきたいと思えます。

(管理者：立野信行)



おつかれさま
ありがとう!

～5月末で「サポートネットあすは」職員の内田が退職することになりました。「サポートネットあすは」の前身「サポートステーション」立ち上げのころからの職員です。長い間おつかれさまでした

障害を持つ兄が、医療的ケアを必要とする身となり、現在、在宅生活を送っています。そして、私は家族の一員として、「施設と地域のあいだで」今後の暮らしを考える日々を送っています。それを機に、5月末で「サポートネットあすは」を退職することになりました。皆様に暖かく見守っていただき本当にお世話になりました。ありがとうございました。

これからもヘルパーとして時々「サポートネットあすは」で活動させていただくこともあると思えます。その節は宜しく願います。

内田絵理



おおぞら会後援会ニュース

青葉が目眩しいこの頃、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、おおぞら会後援会では5月27日に総会を予定しており、そこで今後の後援会事業の具体的方策を皆様と共にまとめ、新たに想いを一つにしていきたいと思っています。昨年度は休止していた「はばたけ大バザール」も、おおぞら会の事業を地域に広め、運営を安定させるための資金を集める大きな役割として、新たな展開を考えていきたいと思っておりますので、どうぞ会員の皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

「皆が繋がり合い、住んでいる人が笑顔になれる地域」を目指し歩み続けていくおおぞら会と、それを支える後援会を今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

おおぞら会後援会 会長 吉野壽夫

後援会総会のご案内

5月27日(日) 場所: アクティビティセンターはばたけ

15:00~ 総会 16:00~ 懇親会

お楽しみ企画* みんなで もちつき!

はばたけ・工房時の利用者による“もちつき大会”
つきたてのおもちを懇親会でふるまいます!

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年度がかわりました!

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義 社会福祉法人おおぞら会後援会

★ 後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)★(4/1 ~ 5/2)

51名様、1社様から、ご入会・ご更新の手続きをいただきました。

ありがとうございました。

★ 千人会協力寄付金(敬称略)★(~ 5/2)

1名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

★ 法人へのご寄付(敬称略)★(~ 5/2)

5名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。



… 事業のご紹介 …

法人本部 : 三鷹市野崎 2-6-4 1
0422-30-5571

障がい者

(生活介護事業)

- ・ **アケビ・ティセンターはばたけ** 三鷹市野崎 3-17-9 tel 0422-32-3234
(就労移行支援事業/就労継続B型)
- ・ **工房 時** 三鷹市野崎 2-6-41 tel 0422-30-5571

(ケアホーム/グループホーム事業)

- ・ **つなぐなかまの家** 三鷹市深大寺 2-23-13 * お問い合わせ等は「法人本部」まで
- ・ **さくらハイツ** 三鷹市井の頭 4-22-6

(短期入所(ショートステイ)事業)

- ・ **ショートステイさくら** 三鷹市井の頭 4-22-6 tel 0422-32-3234 (はばたけ内)

(知的障がい児・者/視覚障がい児・者ガイドヘルパー派遣事業)

- ・ **サポートネット・あすは** 武蔵野市八幡町 1-6-1 tel 0422-36-5151

児童(障がい児)

(知的障がい児放課後等デイサービス事業)

- ・ **あすはKids** 武蔵野市八幡町 1-6-1 tel 0422-36-5151

高齢者

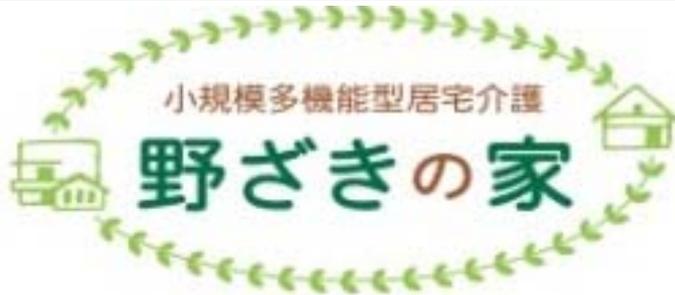
(小規模多機能型居宅介護事業)

- ・ **野ざきの家** 三鷹市野崎 2-6-41 tel 0422-30-5575

おおぞら会 ホームページ (各事業所へリンクできます)

<http://www.oozora.or.jp>





利用者さんを募集します

■小規模多機能型居宅介護 野ざきの家とは・・・■

- ▶三鷹市指定の地域密着型の介護保険事業所です。
- ▶日中の「通い」(デイサービス)を中心に、必要に応じて「宿泊」(ショートステイ)や「訪問」(ホームヘルプ)を組み合わせ利用できるサービスです。
- ▶ひとつの事業所で顔なじみの利用者さんや職員と一緒に過ごし、泊まることができます。
- ▶原則的にプログラム活動は実施せず、利用者さんのペースで“その方らしくのんびりと”“もう一つの自宅というお気持ちで”ご利用頂けるよう目指しています
- ▶季節を感じることでできる外出行事が多く、ご利用の方々からも好評を頂いております。

■利用できるのは・・・■

三鷹市(武蔵野市・調布市)にお住まいで要支援1～5の認定を受けている方

ご利用内容のご相談や費用等些細な疑問、質問等がありましたらお気軽にご連絡下さい。
お気軽にお立ち寄りになった際にご質問して頂いても結構です。

お問い合わせ

0422-30-5575(直通)

0422-30-5571(法人本部)



[編集後記] 父親が自分の意思で前に進んだ。脳出血で倒れて5年。半身まひの身体で全介助の父は、座位や立位をとることも難しく何をしても人の手が必要だ。しかし、この春に「足こぎ車いす」に出会い、左足の残っている力を動力にペダルをこぐ練習を始めたのだ。コントロールは難しいが、誇らしそうに悠々と景色を眺めながら、自力で300mほど走行した。「自分でできる」ということが、こんなにも人の表情を変えるのか…とストーンと胸に落ちた。同時に自分の職場のことを思い、こんな表情をたくさん見ることができる施設にしていきたいとあらためて感じた。(いりくら)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 [頒価 50円]

企画・編集 社会福祉法人おぞら会 編集責任者:入倉暁子